

平成 22 年 1 月 22 日

日本曹達株式会社

地下水の管理に関するお詫びとご報告

このたび、当社千葉工場において、千葉県及び市原市と締結している「公害の防止に関する協定」に関し、コンプライアンスに違反する行為がなされていることが判明いたしました。

千葉県及び市原市の皆様ならびに関係当局の皆様のご信頼を損なうことになりましたことは誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げますとともに、今後は関係当局のご指導を仰ぎながら是正に全力を挙げてまいります。

ここに当社の内部調査結果についてご報告いたします。

1. 地下水の採取に関し、県及び市と締結している協定値を超過していました。また、実際の採取量データを書き換えて報告をしていたことが明らかになりました。当社千葉工場は、平成 22 年 1 月 15 日、県及び市に発生状況、原因および再発防止策を記した報告書を提出、平成 22 年 1 月 18 日に県と市による立入調査を受けました。

2. 採取量が協定値を超過した原因の究明を行った結果、工場内への水道用配管からの漏水が原因とわかりました。この配管は、布設後およそ 40 年を経過しており老朽化により損傷が発生したものです。また、配管の大部分は地中での埋設管であるため漏水の発見が遅れることになりました。漏水箇所を直ちに補修したところ、現在では地下水の採取量は協定値の範囲内に納まっていることを確認しました。

配管を耐腐食性の高い材質に変更するとともに、万が一、再度、配管からの漏水が発生しても早期の発見が可能になるように地上配管とする更新工事をできる限り早く実施します。

3. また、地下水の管理を特定の担当者にあまりに任せすぎ、一方採取量を管理、チェックする社内体制に不備があったためデータの書き換えを今まで発見できず、県及び市に報告書が提出されてしまう結果となりました。

当社千葉工場では、採取量のデータを担当管理者が日々確認できるように報告書式を改定するとともに、業務フローを変更し管理を強化します。また工場幹部や他の管理部署へ毎月報告し相互チェックが可能な体制とします。さらに、工場内部監査、本社監査部門によるチェック機能を強化します。

ハード面対策として監視コンピューターシステムを強化するほか、新たに量水器を追加設置し計量システムのダブルチェック、フェールセーフを図ります。

今回このような事態を引き起こした背景には、地下水の過剰採取による環境への影響について、工場幹部、管理者、担当者の認識に甘さがあったと反省しております。

当社は、環境保全に関する教育の徹底と意識の向上を図るとともに、今後このような問題が二度と起こらないよう会社方針にも掲げてありますコンプライアンス理念を浸透するべく教育を繰り返し実施して、全社総力を挙げて環境問題の解決、改善に取り組み、信頼の回復に努めてまいります。

以 上

■本件に対する問い合わせ先■

日本曹達株式会社

本社総務部 TEL 03-3245-6053
千葉工場管理部 TEL 0436-23-2007